
歌

桜河

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歌

【ZPDFアード】

W9900NZ

【作者名】

桜河

【あらすじ】

ねえ、伝えたい事あるでしょ？

(前書き)

突発的に書きたくなつたので・・・。
BGMに多大なる影響を受けながら書いてみた。

「じゃあ、元気でね・・・バイバイ、またね」

そう言つた後、近付いてくる君の顔。
額に、柔らかくて、暖かい感触。
ふわりと僕を包む、柔らかな匂い。

君が、ぐるりと背を向け、去つていいく。
君の匂いが残つているせいか、僕は反応が遅れた。
伸ばした手は、君の髪の先に、ほんの少し触れただけ。
開け放たれたドア、去つていく君、それを呆然と眺める僕。

いや、違う。

君の匂いのせいなんかじゃない。
何もかもが、遅かつたんだ。
今更、引き止める勇氣もない。
でも、このまま静かに耐える事もできない。

宙に浮かせたままだつた手を、ゆらゆらと彷徨わせる。
視線も、ドアを見ないよに、きょろきょろと忙しなく動かす。
ああ、もう、思考回路もほかの事を考えようと、クルクルと動き
回り、ショート寸前だ。

まるで、海の中にいきなり放り込まれたみたいだった。
八方塞。逃げ道はない。

ゆらゆらと揺れる、水面を見ながら沈んでいく。

そして、陸があんなに上にあること、空があんなに遠い事に、
気が付かされるんだ。

僕の視線の端に、ギターが映る。

部屋の隅のほうに、置物のように置かれたギター。でも、手入れの行き届いたそれへ、手を伸ばす。

彼女と出会ったきっかけとなつた音楽へ、僕は縋りついた。

僕と彼女が出会つたのは、僕がストリートミュージシャンをしていた頃だつた。

・・・僕が、ミュージシャンになる夢を諦めた頃だつた。

彼女が、

「いい歌ですね」

なんて声をかけてきたから、

「実はね、今月で活動やめるんだ」と、答えたのが最初の会話。

そこから、やめる理由について話し、将来の夢なんかについて語り合つて、意気投合し、たまに一緒に出かけるようになつて、自然と付き合つ形になつた。

何か、僕に足りなかつたのだろうか。

いや、僕らは互いに足りないものを埋めあつてきたはずだ。

ただ、そこにほんの小さな隙間があつただけ。

最初は、言葉の行き違ひなんかの「ずれ」。

それが、行動にまで広がつて、最後には感情にまで「ずれ」を生んだ。

小さな「隙間」が、大きな「ずれ」、いや「溝」にまでなつてしまつた。

もう、「僕ら」ではなくなつてしまつたのだ。

君の、心が離れていっていることに、気が付いてはいた。

だが、どうやって繋ぎ止めるのか、それを知らなかつた。時間を戻すなんて事ができるはずもない。

まるで僕は、グラスを割つてしまつた子供のよう。

震えながら、泣きながら、壊れてしまつた破片を直そうとしている。

だが、僕は子供ではない。

心の中で思つてゐる事を、この声に乗せて伝える術をもつてゐる。

・・・君が好きだつた。だけど、それだけじゃ駄目だつたんだ。
うまくいかなかつた。

だから、聴いて。今まで、これから、すべての「僕」。

(後書き)

なんか、スミマセン。

とりあえず謝りますね・・・スミマセン。

いつものように、じやっかん電波・・・。

そして、何時までもやって来ない文才。

全く、どうにこるんだ!!

最後になりましたが、こんなグダグダで意味不明な文を読んでいただきありがとうございました。

作者の気付かないところで方言や誤字脱字などが入っている場合もござりますので、その点につきましては大変ご迷惑をおかけしますが、「了承ください。」(「指摘いただけたありがたいです。」)ここまで読んでいただき誠にありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0089w/>

歌

2011年10月8日18時57分発行